

## 「中央値」「平均値」「標準偏差」について

統計調査は、最高値・最低値・中央値・平均値・標準偏差を示すことにより、報酬の価格帯及びばらつきを確認することができる。

**中央値** : 統計調査で報告された報酬額の内、例えば 100 人の統計であれば報酬額の高い順に 50 人目と 51 人目の報酬額の平均報酬額。99 人であれば 50 人目の報酬額に当たる。

**平均値** : 統計調査で報告された報酬額の平均値。  
平均値は通常  $\mu$  (ミュー) と表示される。  
一般に平均値には、  
単純平均  $\frac{X_1 + X_2 + \dots + X_n}{n}$  ( $X_i$  ( $i = 1, 2, 3 \dots n$ ) : 各データ、 $n$  : データ数) が多く使われている。

**標準偏差** : 統計調査で報告された報酬額のばらつきを確認する数値。  
標準偏差はデータの分布の広がり幅(ばらつき)をみる一つの尺度である。

## 正規分布表について

平均値と標準偏差の値が分かれば、データがどの範囲にどのような割合で散らばっているか(分布)がある程度明らかになる。

図(正規分布表)のような平均値  $\mu$  を中心に左右対称の釣り鐘型の分布(正規分布)では、平均値 ( $\mu$ ) と標準偏差 ( $\sigma$ ) 及び度数の間に次の関係が成り立っている。

これは平均値  $\pm$  標準偏差の範囲に全データの 68.27% が、 $\pm$  標準偏差の 2 倍の範囲内に全データの 95.45% が分布するという意味である。

範囲	その中に入るデータの割合
$\mu \pm \sigma$	0.6827 (約 2/3)
$\mu \pm 2\sigma$	0.9545 (約 19/20)
$\mu \pm 3\sigma$	0.9973

